

佐村河内 守

さむらごうち まもる

『交響曲第1番』 3楽章で構成

指揮 秋山和慶

演奏 京都市交響楽団

作曲 佐村河内守

被爆2世の父と母の
作曲家がえがいた
原爆の闇と平和への光
日本初演!

2010

8.14 [土] 午後2時30分開演(午後1時45分開場)・

京都コンサートホール 大ホール

(地下鉄「北山駅」1番出口南へ徒歩3分)

料金:S席:5,000円 A席:4,000円 B席:3,000円(税込・全席指定) 無料招待席(詳細裏面)

チケットのお求めは

京都コンサートホール 075-711-3090

エラート音楽事務所 075-751-0617

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:57482)

電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:103-991)

主催:佐村河内守『交響曲第1番』演奏会プロジェクト(075-465-4130)

後援:広島市、京都市

マネジメント(お問合せ):エラート音楽事務所(075-751-0617)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービスあり(高1歳以上)事前申込必要 エラート音楽事務所まで 料金 お子様一人につき2,000円

指揮:秋山和慶

佐村河内守

『交響曲第1番』
演奏会

核兵器のない世界を子どもたちに

“被爆2世”でもある佐村河内守の作曲が「交響曲第1番」は、原爆に想をとった作曲で、広島が誇る音楽家としての記念コンサート〜ヒロシマのメッセージを世界に〜(2008年9月1日、広島厚生年金会館、秋山和慶指揮、広島交響楽団)の客席を、熱狂の渦に巻き込みました。シンフォニーは、戦争のむごさを告発し、犠牲になった人々を悼み、核兵器廃絶の願いを語りかけます。原爆の悲惨と祈り、闇と光を表現した話題作です。

2009年4月のブラハでの「核兵器のない世界をめざす」との米国・オバマ大統領の演説もあつて、世界は核兵器廃絶に向かおうとしています。この「反核」の流れを確かで力強いものにすることは、大人にとっても次の世代を背負う子どもにとっても切実な課題です。そして、その成否は、市民の積極的なかかわりにかかっています。

佐村河内守氏を招いて開催された「光の交換コンサート」(2008年6月、京都)で子どもや障害者は、心で音楽を聴く“全聴作曲家”の姿に、強烈な印象と、励ましをもらいました。作曲家との交流が深まって、「守(まもる)さんの音楽を直接聴きたい」との声が今回の演奏会に結びつきました。

今回の全三楽章演奏は日本初演となります。
闇を突き抜け歓喜の世界に!

◎コンサート呼びかけ人

茂山千之丞(狂言役者) 高田英一(元・全日本ろうあ連盟理事長)

スティーブン・リーパー(広島平和文化センター理事長)

益川敏英(ノーベル物理学賞受賞者)

◎核兵器のない世界を子どもたちにプロジェクト

実行委員長 鈴木勉(佛教大学教授)

副実行委員長 高木隆郎

(核戦力防止、核兵器廃絶を訴える東広島市の市民)

事務局 長 池添素(らくらき理事長)

Profile

『交響曲第1番』作曲者

佐村河内守

さむらごうち まもる

1963年、“被爆2世”として、広島に生まれる。4歳からピアノをはじめ、5歳で(マリンバのためのソナチネ〈無の弾効〉)を作曲、音楽の知識や作曲法を独学で学ぶ。99年に作曲したゲームソフト「鬼武者」の音楽(交響組曲『ライジング・サン』)が世界で高く評価され、一躍注目を集める。作家・五木寛之は、自身が出演したドキュメンタリー番組『五木寛之 21世紀・仏教への旅』で音楽を担当した彼を「もし現代に天才と呼べる芸術家がいるとすれば、その一人はまちがいなく佐村河内守さんだろう」と言っている。代表作にテレビ音楽『山河憧憬』、映画音楽『秋桜』、ゲーム音楽『バイオハザード』などがある。

17歳で発症し、35歳で全聾(ろう)となり耳鳴り発作や抑うつ神経症、不安神経症などを病むなかで作曲を続け、次々と作品をうみ出している。未来に生きる子ども達に核兵器のない世界を残すことや、障害のある子ども達との交流を深めている。著書に『交響曲第1番』(講談社)。

指揮者

秋山 和慶

あきやま かずよし

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、東京交響楽団を指揮してデビュー。トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、各地の指揮者・音楽監督などを歴任。サンフランシスコ交響楽団、クリューランド管弦楽団、ニューヨーク・フィル、ボストン交響楽団、ロイヤル・フィル、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。2001年には紫綬褒章を授章。現在、東京交響楽団音楽監督・常任指揮者、広島交響楽団首席指揮者・ミュージック・アドヴァイザーを務めている。2004年広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、九州交響楽団ミュージック・アドヴァイザー/首席指揮者に就任。2004年、東京交響楽団 桂冠指揮者に就任。

京都市交響楽団

きょうとしこうきょうがくだん

1956年創立以来、日本唯一の自治体直営オーケストラとして成長を遂げてきた。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」を受賞。08年4月第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、半世紀という節目を経て、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

無料招待席のご案内

招待席(三階400席 車椅子利用者席15席)を設けます。対象者は小学生以上18歳未満の子どものみ・障害者(手帳所持者)と介助者。希望の方は、往復はがきに氏名・学年・住所・電話番号を書いて「〒603-8324京都市北区北野紅梅町85佐村河内コンサート実行委員会」宛に申し込んでください。なお、介助者同行の方や車椅子利用者の方はその旨を明記してください。また、子ども同伴で来場される一般のお客様はエラート音楽事務所に直接お問い合わせください。